



祭

ともしび祭り開催！ ～特養ともしび～



6月30日、特養ともしびでは、「ともしび祭り」を開催しました！
屋台グルメの定番、たこ焼き、焼き鳥、かき氷を召し上がっていただき、
コイン落としゲームや輪投げにもチャレンジ☆
家族様も数名お越しになり、一緒に楽しい時間を過ごされていました！



食べたい屋台グルメを利用者さんに選んでいただきます(^^)
デザートにプチケーキもご用意しました☆



輪投げはお菓子、コイン落としゲームはタオルが景品でした(^^)皆さま真剣にチャレンジされていました！



ドリンクはジュースだけではなく、よく冷えたビールもご用意
させていただきました☆焼き鳥にビールは最高ですね♪



焼き鳥とたこ焼きは、出来立て状態でご提供できるよう、ギリギリまで保温して美味しさをキープ！
この日はあまり気温が上がらず、かき氷よりも温かい食べ物に手が伸びる利用者さんが多かったので、より喜んでいただけたと思います。
職員も楽しい時間を過ごすことができました(^^)
最後に、お越しいただいた家族様に心よりお礼申し上げます。



職員インタビューコーナー

看護師を目指したきっかけ

母が看護師で、父が介護士という環境で育ちましたので、人と関わる職種は私にとってとても身近なものでした。
両親共に専門性が高く、社会的に必要とされる職業に就いていたことで私も自然と同じ道に進みたいと思うようになり、高校卒業後の進路を決める段階で看護学科のある大学と、義肢装具学が学べる専門学校に絞っていました。
私の中で「病气や怪我を患っている人と関わるのは看護師だ」という想いがあり、最終的にはそれが動機となって、看護学科のある大学に進みました。
大学3年生になった時に色んな領域の実習に行ったのですが、その中に老年看護実習もあり、高齢者との関わりが楽しかったことが印象として残っています。
大学4年生になってからは国家試験の勉強に励み、無事看護師免許証を取得しました。
特養ともしびには前職を経て令和6年5月に入職し、今に至っています！

実際に看護師として働いて

最初の就職先は病院で、配属先は消化器内科、皮膚科、整形外科と様々でした。高齢の方との関りも多くありましたが、病棟は忙しすぎて丁寧にお1人と関わることはとても困難でした。
今の勤務先である特養ともしびは、医師が常駐していない分、看護師に意見や判断を求められることも多いので、調べたり相談しながら対応する必要があることで利用者さんに関わる時間は多いです。
爪切りや処置の際にも色んなお話ができるので、丁寧に关われることが仕事への意欲にも繋がっています！

やりたいこと

居住フロアが違う利用者さん同士でも、毎日の生活の中で気軽に交流を持ていただくことができればいいかな、と思っています。
今は利用者さんが喫茶コーナーを利用される時に、フロアの違う仲の良い方とお喋りがしやすいように配慮はしておりますが、もっと頻繁に交流できれば、という想いがあります。

大切にしていること

笑顔で接することです！
明るい表情だと利用者さんだけではなく、職員からも気軽に声をかけてもらえますので、相談や確認もしやすいと思います。
反対に話かけにくい表情だと、相談したいことを飲み込んでしまって、それが後々大きな問題になることもあり得ますので、利用者さんの安全の為に特に意識しています。



特養ともしび 看護師
浮田 紗都さん

休日の過ごし方、ストレス対処

インドア派なので自宅でゆっくり過ごすことが多いですが、時々友人とランチや買い物に出かけた時に色々話してリフレッシュしています♪
ストレス対処については、寝ると忘れるタイプなので溜めてしまうことはないのですが、疲れを感じた時は早く眠るようにしています。
美味しいものを食べながらお酒を飲むことも良い気分転換になっていて、最近ではお気に入りの韓国チキンをスーパーで買って楽しんで時間を過ごしています！

未来の自分

特養ともしびに入職して1年と少し経ち、困った時は先輩職員に聞いたり相談しながら日々経験を重ねているところです。
今後の目標は、疾患が出てくるまでの初期症状や急変のサインをいち早く感じ取れるようになって、自分でも判断ができるようになることなので、もっと勉強したいと思っています。
利用者さんにもっと安心して過ごしていただけるように、コツコツと力を付けていきたいと思っています。